

学 校 教 育 相 談		担当教員：五 浦 哲 也	2 単 位
設 題	<p>設問：テキスト『教育相談の理論と方法』を参考に、以下の①～⑤の課題から1つを選択して記述してください。※<u>自らの考えを入れて</u>記述してください。(規定字数1800字以上)</p> <p>※<u>選んだ番号</u>をレポートの最初に記載してください。</p> <p>※<u>説明と考えは明確に書き分けて</u>ください。</p> <p>※<u>下線部分(内容を関連づけ)</u>は、どのように関連づけたかが分かるように記述してください。</p> <p>※<u>レポート末尾に(字数)</u>を表記してください。</p>		
	<p>①第1章(学校における教育相談の意義と課題)をふまえ、第2章(教育相談に関わる心理学の基礎的な理論)と第4章(カウンセリングの基本技法の第4節)において自らが最も着目している教育相談に関わる心理学の基礎的な理論と理由、そして、その理論を実践で活用する上であなたが身に付けている基本技法とこれから身に付けていきたい基本技法について具体的な場面を想定し、<u>理由を含め記述してください。</u></p>		
	<p>②教員として不登校の生徒や保護者に教育相談を実施していく際、第1章(学校における教育相談の意義と課題)をふまえ、どのように取り組んでいきたいと考えますか。第10章(不登校(園)と教育相談)の内容と第2章(教育相談に関わる心理学の基礎的な理論)と第4章(カウンセリングの基本技法)の<u>キーワードを用いて自らの考えについて記述してください。</u></p>		
	<p>③思春期・青年期にある生徒への教育相談を行う場合、発達課題をふまえ、どのように行いますか。第1章(学校における教育相談の意義と課題)と第8章(思春期・青年期の発達課題と教育相談)の<u>内容と関連づけ、自らの考えを記述してください。</u></p>		
	<p>④教育相談コーディネーター等の担当者として、学校内外における効果的なチーム支援を実施していくために必要とされる知識、スキルなどは何であると考えますか。第1章(学校における教育相談の意義と課題)、第13章(学校全体で進める教育相談)、第14章(スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの役割)、第15章(専門機関との連携)の<u>内容と関連づけ、自らの考えを記述してください。</u></p>		
	<p>⑤第12章(学級担任が行う教育相談)、第1章(学校における教育相談の意義と課題)をふまえて、1年間を通して、どのようなクラス運営を実施していこうと考えますか。校種、学年を明記し、<u>教育相談の意義や視点を取り入れどのように取り組んでいくかについて具体的に考えを述べてください。</u></p>		
作成方法は「ワープロ(推奨)」又は「筆記」			
ワープロ	用紙等：通信教育部標準フォーマット・コピー用紙等(無地)		
筆 記	筆記用具：ボールペン(黒)・鉛筆・シャープペンシル(HB)		
	用 紙：市販のレポート原稿用紙		
文字数等	設問毎に指定、横書き		
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを的確に理解して、適当な段落で文章を構成すること。 ・テーマの内容は教科書だけでは十分に答えられないものもある。他の文献などにもあたり、作成すること。 ・教科書又は他の文献の丸写しは不可です。自分が理解した言葉で書きなさい。 ・必ず作成した原稿を読み返して、誤字・脱字等のないように留意しなさい。 		